

■吉本隆明　詩人，評論家。反アカデミズムの立場から、1960～70年代に、圧倒的な影響力を持って、日本思想をリードした。よしもとたかあき(りゅうめい)
護憲三派圧勝1924＝　東京市京橋区月島東仲通で、吉本順太郎・エミの三男に生まれる。兄2人姉1人。
吉本家は熊本県天草で、祖父権次が造船業を起こして大成功するも、造船業界の変化と大正期の不況で行き詰まり、父は製材業を試みるも及ばず、持ち家が差し押さえられ、隆明誕生直前に、天草を出奔して上京、月島には造船所や関連の工場もあり、関東大震災後の帝都復興で、再起を期すのに適していた。
共産党事件・1928＝　4歳：弟富士雄が誕生。この頃までに、父は{吉本造船所}を起こし、傍ら遊興用の貸しボート屋を始める。

満州事変・・・1931＝　7歳：妹紀子が誕生。佃島尋常小学校に入学。
国際連盟脱退1933＝　9歳：　進学のため、門前仲町の今氏乙治の学習塾に入る。
帝人疑獄事件1934＝10歳：東京府立化学工業学校応用化学科に入学。合格後も学習塾に通い、文学に目を開く。
日中戦争始・・・1937＝13歳：父が住宅営団の土地付分譲住宅を月賦で購入し、一家で、葛飾区上千葉に移住。
日米開戦・・・1941＝17歳：米沢高等工業学校応用化学科(のちの山形大学工学部)に受験成績一番で入学、学生寮に入る。
・・・・・・1942＝18歳：陸軍中尉だった次兄が飛行機の墜落事故で死去。_本格的な詩作をはじめる。
創価学会検挙1943＝19歳：改称された米沢工業専門学校を繰り上げ卒業し、東京工業大学電気化学科に入学、数学者遠山啓と出会う。
年金+総武装　1944＝20歳：翌年にかけて、学徒動員でミヨシ化学興業の研究室で働き、この間、山形で徴兵検査を受け、甲種合格。
敗戦・・・・・・1945＝21歳：東京大空襲で恩師の今氏乙治を喪う。有人ロケット戦闘機{秋水}の燃料製造を担い、開発に東京工業大学が関わっていた日本カーバイド工業魚津工場に赴き、製造に従事。_徹底的に戦争を継続すべきと考えていて、敗戦の放送を工場で聞き衝撃を受け、敗戦直後に遠山啓教授が開講した自主講座から、決定的な影響を受けたという。以後、戦前の経験と戦後の意志のギャップを埋めて行くことが思想的課題になる。

新憲法施行・1947＝23歳：卒業。幾つかの中小工場で働くが、
極東裁判決・1948＝24歳：姉が結核で死去。労働組合運動で職場を追われ、
三大事件・・・1949＝25歳：戦時中に徴用から研究者を守るためにできた特別研究生の試験を受け、東京工業大学無機化学教室に戻り、有給で研究生生活。{詩文化}に、「ランボーもしくはカール・マルクスの方法についての諸注」を投稿、
独立回復・・・1951＝27歳：特別研究生前期を終了し、東洋インキ製造株式会社に入社。化成部技術課に配属され、青砥工場に通う。
メデー事件・1952＝28歳：父から資金を借り、_詩集『固有時との対話』を自費出版し、デビュー。
TV放送始・・・1953＝29歳：青砥工場労働組合組合長となり、東洋インキ労働組合連合会会長にもなって闘うが敗退。_詩集『転位のための十篇』を自家版として発行、左翼からは無視されるも、{荒地}から評価され、

自衛隊発足・1954＝30歳：闘争の中心になった組合員とともに、配転命令を受け、東京工業大学へ長期出張。
55年体制始・1955＝31歳：本社総務部への転勤辞令を機に、退社。_新人賞を受賞し、{荒地}に参加。{現代評論}に「マチウ書試験」を発表し、のちに有名になる「関係の絶対性」なる言葉を初めて使用。
国連加盟・・・1956＝32歳：北区田端で、黒澤和子と同棲、のちに最大の難事件と語った三角関係に悩む。恩師遠山啓の紹介で、長井・江崎特許事務所に入所。初代全学連委員長武井昭夫と論争の「文学者の戦争責任」で戦前のプロレタリア文学運動参加者を厳しく批判、
なべ底不況・1957＝33歳：和子と入籍。長女多子が誕生。この前後、_花田清輝とのあいだで激しく論争、最終的には勝利となる。
イヌストーマン・1958＝34歳：文京区駒込に転居。_〔現代批評〕創刊号に、戦前の共産主義者たちの「転向論」を発表し、批判。
美智子妃・・・1959＝35歳：台東区仲御徒町の、義母の同僚の持ち家を借りる。_これらを載せた「芸術的抵抗と挫折」を刊行。
安保闘争・・・1960＝36歳：安保闘争の六・一五国会抗議行動で逮捕。{中央公論}に、「戦後世代の政治思想」。近代文学賞。
タイタイ病始・1961＝37歳：ブント書記長であった島成郎がスポンサーを見つけてくれ、*_自立の思想を標榜して〔試行〕創刊、以後、左翼リベラルを容赦なく批判していく一方、「言語にとって美とはなにか」の連載開始。
全国総合計画1962＝38歳：安保闘争を総括する「擬制の終焉」を発表。
TV宇宙中継始1963＝39歳：台東区谷中に転居。熊本・福岡での講演の合間に、初めて天草を訪れ、母の実家を尋ね、父の従兄弟に会う。「知識人」のいかがわしさを問う「丸山真男論」を刊行し、丸山と論争。

東京リボルヴ 1964＝40歳：次女真秀子が誕生。
大学紛争始・1965＝41歳：北区田端に転居。お花茶屋で食料品店を営んでいた長兄が死去。「言語にとって美とはなにか」出版。
いざなぎ景気1966＝42歳：支えてくれていた春秋社編集長岩淵五郎を全日空機羽田沖墜落事故で喪う。
美濃部都知事1967＝43歳：文京区千駄木の借地の建売住宅を購入。
震ヶ関ビル・1968＝44歳：父が死去。「吉本隆明詩集　現代詩文庫8」。最初の吉本隆明全著作集の刊行が始まる。「共同幻想論」，長女多子がハルノ宵子名の「ラストセイリング」でデビュー。文京区本駒込の住居を割賦で購入、以後、住み続ける。佐賀市での講演後、天草を再訪。連作詩の取材の旅をし、のち詩集「記号の森の伝説歌」となる。
トランプ・・・・1969＝45歳：この年まで勤め続けてきた特許事務所を退職。
トランプ・・・・1971＝47歳：母が死去。吉本と花田の論争で開眼した磯田光一の「吉本隆明論」が出版される。「心的現象論序説」，この間、谷沢永一と論争、谷沢の理路整然とした反論に、感情的な言葉を返すのみで“数少ない敗北”に。

石油ショック1973＝49歳：　
アップル事件1975＝51歳：文京区千駄木に宅地を購入。家を建てる予定だったが実現せず、後に手放す。
田中角栄逮捕1976＝52歳：「最後の親鸞」と、戦後思想をリードしてきたが、
成田衝突・・・1978＝54歳：*日本を代表する思想家として、ミシェル・フーコーと対談して以降、文化表現の解説に照準を合わせ
貿易摩擦問題1980＝56歳：長女多子がハルノ宵子名の「ラストセイリング」でデビュー。文京区本駒込の住居を割賦で購入、以後、住み続ける。佐賀市での講演後、天草を再訪。連作詩の取材の旅をし、のち詩集「記号の森の伝説歌」となる。
・・・・・・1981＝57歳：中野孝次らが始め、二千万人の署名運動に発展した反核署名運動を批判し、原発擁護を鮮明にする。

中曽根内閣・1982＝58歳：「マス・イメージ論」出版。{アンアン}にファッション論を寄稿し、“コムデギャルソン”の服を着て写真、
・・・・・・1984＝60歳：「壇谷雄高とコムデギャルソン論争」はじめ、サブカルチャーを評価して、従来の支持者らからは「転向」と見なされる一方、より若い層に影響を与えるようになる。
ジャンボ機墜落1985＝61歳：次女真秀子が吉本ばなな名の「キッチン」でデビュー。中上健次、三上治と「いま、吉本隆明25時～24時間連続講演と討論」。

リクルート事件・1988＝64歳：一級建築士の弟が、工事中の転落事故がもとで死去。
バブル崩壊・1992＝68歳：講演「わが月島」で、月島地区の百年の歴史と未来を語る。
55年体制終・1993＝69歳：八重洲ブックセンターで「思想詩人吉本隆明&吉本隆明写真展」。
自社と連立・1994＝70歳：{文藝春秋}に「わが転向」を発表、小沢一郎の「日本改造計画」を高く評価している。
オウム事件・1995＝71歳：かねて麻原彰晃を評価していたことから、オウム真理教事件発生後は強く批判される。
・・・・・・1996＝72歳：家族と夏の休暇中、西伊豆土肥海岸で、*遊泳中に溺れ、意識不明の重体になり緊急入院。一命を取り留めるも、持病の糖尿病の合併症による視力・脚力の衰えが進み、読み書きは困難、著作は、口述やインタビューによることが多くなる。脚力・体力の回復のため自分流のリハビリに取り組む。

金融破綻・・・1997＝73歳：_〔試行〕も終刊。
・・・・・・1998＝74歳：〔試行〕の事務から解放された妻和子が、初めての句集「寒冷前線」を上梓。「アフリカの段階について」，
石原都知事・1999＝75歳：小林よしのりの漫画「戦争論」と(新しい歴史教科書を作る会)に関連して、「私の戦争論」出版。
小泉9.11テロ2001＝77歳：前年の9.11アメリカ同時多発テロに関して、「超・戦争論」出版。
小泉北朝鮮・2002＝78歳：「夏目漱石を読む」で小林秀雄賞、「吉本隆明全詩集」で藤村記念歴程賞。
イラク戦争・2003＝79歳：「NHKが、これを構成したドキュメンタリー番組放送。花巻市主催「宮沢賢治賞」受賞し記念講演したが、
・・・・・・2004＝80歳：下血で日本医科大学付属病院に入院。検査中に横行結腸に癌が見つかり、翌月手術。
小泉郵政選挙2005＝81歳：
・・・・・・2006＝82歳：「老いの超え方」刊。
民主党政権・2008＝84歳：〔試行〕上で終刊まで執筆した「心的現象論・本論」が出版される。_昭和女子大学人見記念講堂で「芸術言語論～沈黙から芸術まで～」を講演。車椅子で登場し、聴衆2,000人に向け約三時間話し、

リーマンショック・・・2009＝85歳：_NHKが、これを構成したドキュメンタリー番組放送。花巻市主催「宮沢賢治賞」受賞し記念講演したが、
安倍政権発足2012＝88歳：発熱のため日本医科大学付属病院に緊急入院し、肺炎で、_没した。
生涯に百数十冊の書を刊行し、共著も百近くに登る、社会への発言に生涯をかけたといえよう。

インターネット「吉本隆明略年譜(作成・石関善治郎)」, Wikipedia. 礪川全次「在野学の冒険」で追捕、